

令和6年10月22日（火）

本町暫定庁舎第一会議室

午後7時30分～

令和6年度第1回小金井市飼い主のいない猫対策推進協議会 次第

1 開会

2 報告事項

(1) 令和5年度の事業実績について（資料1）（資料2）

(2) その他

3 議題

(1) 飼い主のいない猫対策事業の今後の進め方について

(2) その他

4 次回協議会の日程について

5 その他

令和5年度 飼い主のいない猫 不妊・去勢手術実績

	4			5			6			7			8			9		
	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計
手術数	1	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
手術数累計	1			1			3			4			4			4		
助成額	5,000	0	5,000	0	0	0	5,000	10,000	15,000	5,000	0	5,000	0	0	0	0	0	0
助成額累計	5,000			5,000			20,000			25,000			25,000			25,000		
予算残額	445,000			445,000			430,000			425,000			425,000			425,000		
執行率	1.1%			0.0%			3.3%			1.1%			0.0%			0.0%		
執行率累計	1.1%			1.1%			4.4%			5.6%			5.6%			5.6%		

	10			11			12			1			2			3		
	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計
手術数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2	1	3
手術数累計	4			4			5			6			6			9		
助成額	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000	5,000	0	5,000	0	0	0	10,000	10,000	20,000
助成額累計	25,000			25,000			30,000			35,000			35,000			55,000		
予算残額	425,000			425,000			420,000			415,000			415,000			395,000		
執行率	0.0%			0.0%			1.1%			1.1%			0.0%			4.4%		
執行率累計	5.6%			5.6%			6.7%			7.8%			7.8%			12.2%		

オス メス 合計
7 2 9

事業開始以降の手術頭数累計

	オス	メス	合計
平成29年度	45	35	80
平成30年度	37	39	76
令和元年度	40	53	93
令和2年度	21	29	50
令和3年度	16	20	36
令和4年度	13	10	23
令和5年度	7	2	9
合計	179	188	367

令和6年度第1回小金井市飼い主のいない猫対策推進協議会
議事録（要約版）

日 時：令和6年10月22日（火）午後7時30分～午後8時30分
場 所：本町暫定庁舎 第一会議室
出席者：渡部会長、田丸副会長、鷹取委員、飼沼委員、木村委員
（事務局）環境政策課 荻原専任主査、石堂

1 開会

2 報告事項

(1) 令和5年度の事業実績について（資料1・2）

令和5年度はオス7頭、メス2頭の合計9頭であった。事業開始以降、年々実績頭数が減ってきており、確実に事業の成果が出てきていると感じている。

最近、市で受けた手術依頼内容は「譲渡に出したいので、不妊・去勢手術をしてほしい」、「野良猫だった猫を自分で引き取りたいので、手術をしてほしい」といった内容で、いずれも補助対象外であった。

令和6年度は現時点でおそらく3頭くらいしか実績件数がなく、最近は、ボランティアの方からも保護猫事業の補助金について検討してほしいとの要望もあるので、次年度以降に内容を精査していけたらと考えている。保護譲渡に補助金を交付するにあたっては、どの範囲まで費用を出す必要があるのか、ワクチン接種代や薬代、猫砂代、餌代など、検討するといろいろあると思う。ある程度の数字が見えてこない、細かい制度設計ができないので、「1頭あたりどれくらい費用が必要なのか、年間に何頭分の費用を計上すればよいのか」等を精査した上で、検討していきたい。

また、保護譲渡の際は、ある程度の金額は譲渡先から頂かないと、猫の命を軽んじて責任を取らなくなる人が増えてしまい、万が一飼いきれなくなった場合に、野に放つという人が増えてしまうおそれがある。そのためにも、譲渡先の方から一定の金額は払っていただいた方が良いのではないかと考える。

行政ができることとして、例えば市ホームページに、保護猫譲渡会についての記事を猫の写真付きで掲載すると、より譲渡に繋がりがやすくなるのではないだろうか。里親探しも飼い主のいない猫を減らすための一つの方法である。他市でも行政が掲載しているところがあったと思うので、そのような自治体に話を聞くなどして、検討していけば良いのではないかと考える。

もし、小金井市内の猫のみを対象とするのであれば、不妊・去勢手術の件数はそこまで多くないので、保護猫事業の予算もそこまで高くないのではないか。また、保護猫も大事ではあるが、近年は高齢ゆえに飼えなくなってしまい、困っている方がどんどん増えてきている。そのような問題に対して 対応できる方法を考えてほしい。

高齢者の飼いきれなくなった猫問題については、東京都からもこれから増えていくだろうと注意喚起されている。市としても検討課題であると認識している。

地域猫活動についての周知をもう少し行ったほうがいいのではないだろうか。

市ホームページだけではなく、市報や X にも掲載をして周知を図っている。

各動物病院にチラシを貼るのはどうだろうか。市報は家に届くので、目にする機会もあると思うが、自ら市ホームページを閲覧する人は、あまり多くはないのではないか。動物好きの方たちが集まるようなペットショップなどに貼ってもらうのも良いかもしれない。

現在、協定を結んでいる動物病院には依頼をし、チラシを院内に掲示してもらっているので、新規開拓を検討するのも良いかもしれない。

- (2) その他
特になし

3 議題

- (1) 飼い主のいない猫対策事業の今後の進め方について

地域猫活動は、現状（不妊・去勢手術の件数が大幅に減少した状態）を維持するために、細々とでも長く続けていかなければならない。本事業の周知の仕方に課題がある可能性もあるので、その点は工夫をしていく。その一方で、ボランティアの方たちからは「保護譲渡にかかる負担が大きくなってきているので、そちらの支援をしてもらえないだろうか」といった声が出てきている。今後、地域猫活動を続けながら、保護譲渡に関しても少し検討していく必要があるのかもしれない。現在は、他市に現状などを聞いて勉強している最中であり、以前、青梅市が保護猫事業の補助金に関する調査を行っていたため、その調査結果を参考に、各自治体の現状を精査しているところである。

例えば、市内の猫で飼えなくなった猫については保護譲渡の対象になるのか。

対象になるのではないか。

飼い主が高齢故に飼えなくなった場合、引き取ってくれるような団体にお金を出すことはできないのか。

団体だけではなく、市の広報の力を使い、猫の里親探しの情報を市民に提供できると良いのではないだろうか。「ジモティー」などに、保護猫や譲渡についての掲載はあるのか。

市内や都内でも一定の件数で掲載があったと思う。お金については記載されていないが、飼育状況の確認が必要など一定のルールはあるように見える。

- (2) その他
特になし

- 4 次回協議会の日程について
2月、3月頃に開催を検討中。

5 その他

- (1) 1月にボランティア募集セミナーを開催する
- (2) 東町2丁目の多頭飼育崩壊現場の件について
なかなか進展せず。ボランティアと協力して取り組んでいく。

以上